

NEWS RELEASE

「Brilliant60s＝輝ける 60 代」2,000 人に聞いた「シニアのリアル調査」結果より

今どきシニア、お盆玉の平均は 5,690 円。子や孫の帰省費用の負担増。

～子や孫が帰省する際の交通費に平均 33,000 円、前年比 2,500 円増～

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：馬場信輔、本店：東京都千代田区）は、日本の 60 代を中心とするチャレンジ精神旺盛でアクティブな世代を「Brilliant60s＝輝ける 60 代」と名付け、ポジティブな人生をおくるサポートをすべく、シニア層のお客さまへの資産運用コンサルティングに注力しております。

あおぞら銀行では、この Brilliant60s 世代に注目し、コアとなる全国の 55～74 歳の男女約 2,000 名を対象にした「シニアのリアル調査」を 2014 年から毎年実施しております。今年で 3 年目を迎えた最新の調査では下記のような結果が出ました。

<調査結果概要（詳細は別紙のとおり）>

1. お年玉だけじゃない。新語「お盆玉」、2 割のシニアに浸透。

～お盆の時期に子や孫にお小遣いをあげたことのあるシニアは 11%～

- ★「お盆玉」（※お盆の時期に、子や孫にあげるお小遣いのこと）という言葉を知っているシニアは 16.6%（男性 15.4%/女性 17.7%）と 2 割近くもあり、新語にも関わらず普及し始めている。一方、実際にお盆玉をあげる予定のシニアは 11.1%で、その予定金額は 5,690 円（男性 5,550 円/女性 5,800 円）。

2. 子や孫が帰省する際の交通費、2 人に 1 人が負担。平均負担額は昨年より 2,500 円アップ！

～女性シニアは 35,000 円以上負担し、今年も男性シニアより多い結果に～

- ★調査対象のシニア世代のうち、「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は 65.5%（前年同率）。そのうち、約半数が「交通費を負担している」と回答。平均負担額は 32,900 円（前年比 2,500 円増）。男女別の平均負担額は、男性シニア 29,700 円（前年比 2,400 円増）、女性シニア 35,300 円（前年比 2,200 円増）と共に上昇しているものの、その差は約 6,000 円に。

3. 帰省中も子や孫へは負担を惜しまない！その額平均約 50,000 円と、昨年からじわり上昇。

～女性シニアの平均は 56,400 円と大盤振る舞いで、今年も更に男性シニアを大きくリード～

- ★子や孫が帰省した際に使う金額（交通費以外）は、平均 49,700 円（前年比 2,100 円増）と前年をやや上回る結果となった。男女別の平均負担額は、男性シニアは 42,000 円、女性シニアは 56,400 円と、その差は約 14,400 円で女性シニアがリード。この男女差は前年（差額 11,500 円）よりも 2,900 円広がっている。

4. 「山の日」元年、今どきシニアの 15%が「山登りを考えたり、予定を入れる」きっかけに。

～年代別では 70 代シニアが「山登りをする」割合が多い～

- ★今年 8 月 11 日から施行される新しい祝日「山の日」をきっかけに山に登る予定を組んだか聞いてみたところ、「山登りをするを考えたが、具体的に山に登る予定はない」が 11.2%で、実際に「山に登る予定がある」と答えたのは 4.1%と回答。約 15%が「山登りを考えたり、予定を入れる」きっかけとなった。
- ★シニアに山登り事情について聞くと、8.3%が「山登りをする」と回答。
年代別では、50 代後半 8.3%→60 代 8.0%→70 代前半 9.2%と、70 代が山登りをする割合が多いのが注目される。

以上

（報道関係のお問い合わせ先：経営企画部（名和）03-5212-9252）

あおぞら銀行「シニアのリアル調査」2016

【調査目的】

シニアの方々の暮らしぶり・老後の意識・資産運用・旅行や外食・趣味・お子さまやお孫さまについてなど、様々な視点からお金に関連する実態やその意識を調べる。

【調査対象者】

全国 55～74 歳の男女 合計 2,074 人

【調査内容】

インターネット調査 2016年6月10日(金)～2016年6月13日(月)実施

【金融資産背景】

当調査対象者の平均金融資産額：50代後半 1,548万円、60代 2,028万円、70代前半 2,098万円

一般(二人以上の世帯)の平均金融資産額^(*)：50代 1,325万円、60代 1,664万円、70歳以上 1,618万円

(*)出典：2015年金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」調べ

<調査概要>

1. お年玉だけじゃない。新語「お盆玉」、2割のシニアに浸透。

～お盆の時期に子や孫にお小遣いをあげたことのあるシニアは 11%～

質問：「お盆玉」という言葉を知っているか？

「お盆玉」(※お盆の時期に、お子様・お孫様にあげるお小遣いのこと)という言葉を知っているか聞くと、知っていると言ったのは 16.6% (男性 15.4%/女性 17.7%) だった。その内訳は「『お盆玉』を知っていて、あげたことがある」3.9%、「『お盆玉』という言葉は知っているが、あげたことはない」12.7%となった。

一方で「『お盆玉』という言葉は知らないがお盆の時期に子どもや孫にお小遣いをあげたことがある」と答えているシニアが 7.2%おり、「『お盆玉』を知っていて、あげたことがある」3.9%と合わせると、今どきシニアの 11%が「お盆玉」をあげる行為をしていることになる(【図1】参照)。

・「お盆玉」を知っている：**16.6%** 「知っていて、あげたことがある+知っているが、あげたことはない」

・「お盆玉」を知らない：**83.4%** 「知らないが、あげたことがある+知らないし、あげたこともない」

【図1】「お盆玉」を知っている v s 「お盆玉」を知らない (対象者全体)



～「お盆玉」の平均は 5,690 円。関東の方が関西に比べて 800 円高い～

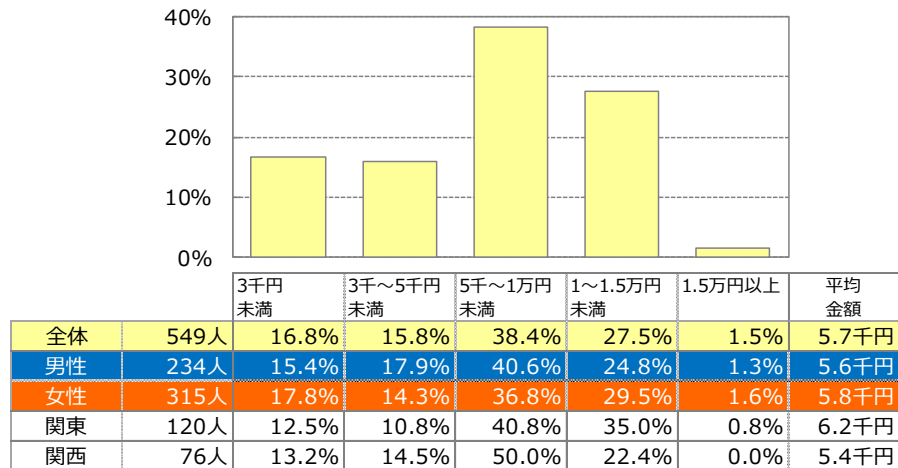
今年の「お盆玉」の予定金額(子や孫がいるシニアを対象/「0円」という回答を除いた平均金額)は、5,690円(男性 5,550円/女性 5,800円)だった。

また、関東と関西で比べると、関東は「1～1.5万円未満」の割合が関西よりも 10ポイント以上高く、平均額も 6,200円と関西の 5,400円を千円近く上回っている(次頁【図2】参照)。

・**関東平均**(東京、神奈川、埼玉、千葉) : **6,200円**

・**関西平均**(大阪、京都、兵庫、奈良) : **5,400円**

【図2】「お盆玉」の予定金額（子や孫がいるシニアを対象／「0円」という回答を除いた平均金額）



※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

2. 子や孫が帰省する際の交通費、2人に1人が負担。平均負担額は昨年より2,500円アップ！

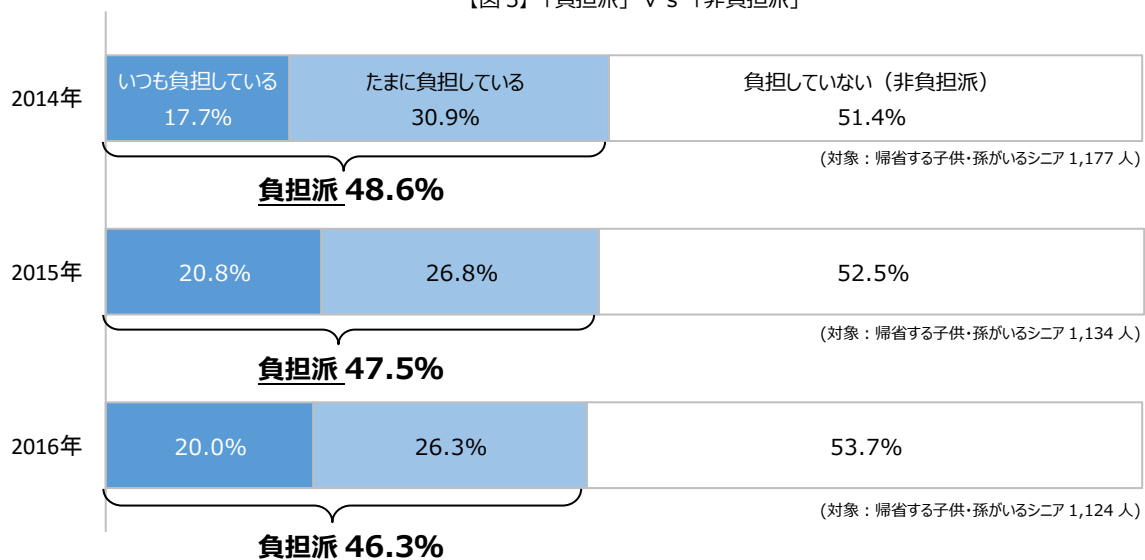
～「負担派」シニアはこの3年で減少傾向～

質問：子や孫が帰省してくる時に交通費を負担しているか？

「帰省してくる子や孫がいる」と答えた割合は65.5%（前年同率）。そのうち、子や孫が帰省する時に交通費を負担している「負担派」シニアは46.3%で約半数が負担しているという結果になった（【図3】参照）。

- ・負担派 : **46.3%**（前年比 1.2%減） 「いつも負担している+たまに負担している」
- ・非負担派 : **53.7%**（前年比 1.2%増） 「負担していない」

【図3】「負担派」v s 「非負担派」



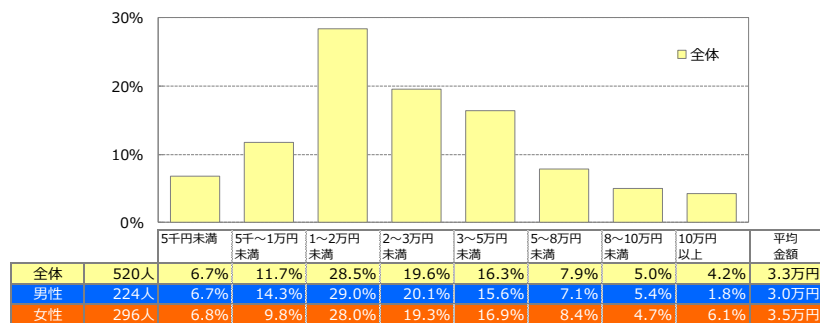
～女性シニアは 35,000 円以上負担し、今年も男性シニアより多い結果に～

質問： 子や孫の帰省時に交通費はいくら負担しているか？

上記「負担派」シニアが、子や孫が帰省する時に、負担している交通費の平均は 32,900 円(前年比 2,500 円増)。「1～2 万円未満」(29%)、「2～3 万円未満」(20%)、「3～5 万円未満」(16%)と、合計約 64%が 1 万以上～5 万円未満を負担しているという結果になった。男女別では、男性シニアの平均支出額 29,700 円に対して女性シニアは 35,300 円と、女性シニアの方が平均で約 6,000 円多くお金を使っている(【図 4】参照)。

- ・全体平均予算 : **32,900 円 (前年比 2,500 円増)**
- ・男性平均予算 : **29,700 円 (前年比 2,400 円増)**
- ・女性平均予算 : **35,300 円 (前年比 2,200 円増)**

【図 4】 子や孫の帰省時に負担する交通費 <2016 年結果>

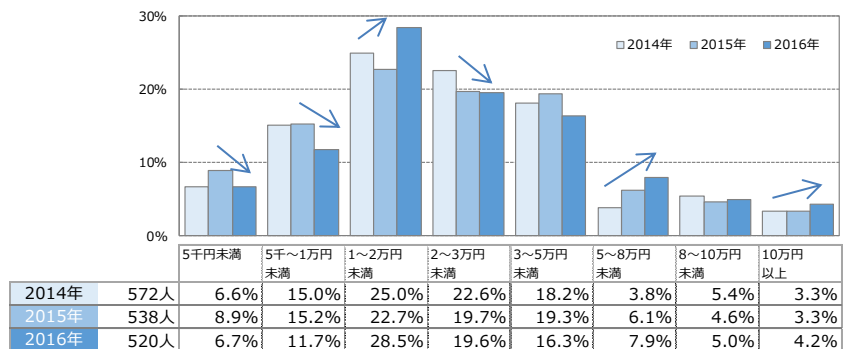


(対象：「負担派」シニア 520 人)

※本調査結果の数字は少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

上記「負担派」シニアが負担している交通費の金額分布を、過去 3 年で比べると、特に今年は「1 万円未満」の割合が減少する一方で、「1～2 万円未満」への集中度が高まり、「5 万円以上」が増加するなど金額の差が広がっている(【図 5】参照)。

【図 5】 負担する金額推移 <2014 年～2016 年>

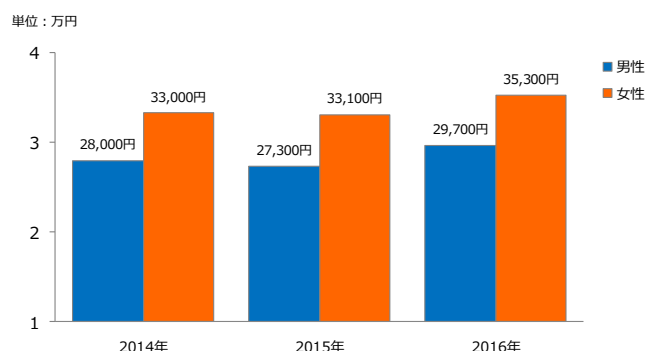


(対象：各年の「負担派」シニア)

※本調査結果の数字は少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

負担している交通費の平均額を、調査した 3 年で比べると、過去 2 年は大差なかったが、今年は昨年から 2 千円強の上昇が見られる(【図 6】参照)。

【図 6】 負担する平均額推移 <2014 年～2016 年>



3. 帰省中も子や孫へは負担を惜しまない！その額平均約 50,000 円と、昨年からじわり上昇。

～女性シニアの平均は 56,400 円と大盤振る舞いで、今年は更に男性シニアを大きくリード～

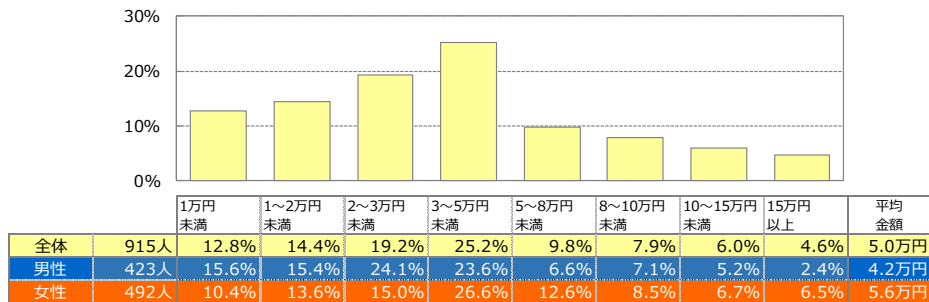
質問：子や孫の帰省時の交通費以外の負担額は？

「今年、子どもや孫が帰省するシニア」について、子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）は、「3～5万円未満」(25%)との回答が最も多く、次に「2～3万円未満」(19%)が多い結果になった(【図7】参照)。

- ・全体平均予算 : **49,700 円 (前年比 2,100 円増)**
- ・男性平均予算 : **42,000 円 (前年比 400 円増)**
- ・女性平均予算 : **56,400 円 (前年比 3,300 円増)**

女性シニアは「5万円以上」の高価格帯の割合が多く、男性シニアより平均で 14,400 円多くお金を負担している。

【図7】子や孫の帰省時に使う予算（交通費以外）＜2016年結果＞

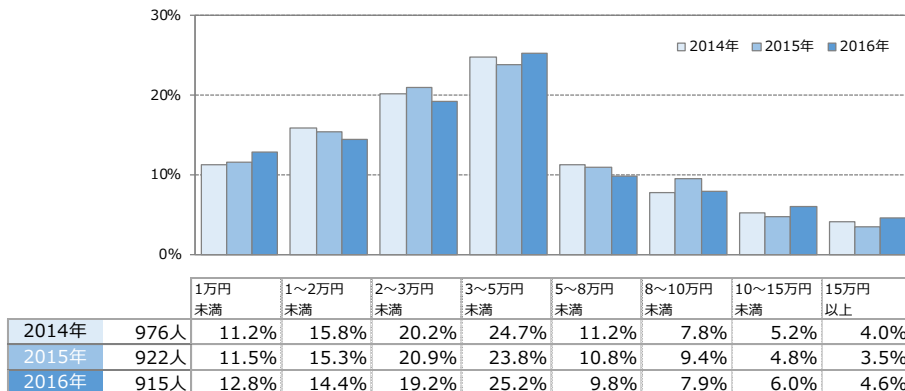


(対象：今年、子どもや孫が帰省するシニア 915人)

※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

予算金額の分布を、過去3年で比べてみると特に大きな変化は見られない(【図8】参照)。

【図8】負担する金額推移＜2014年～2016年＞

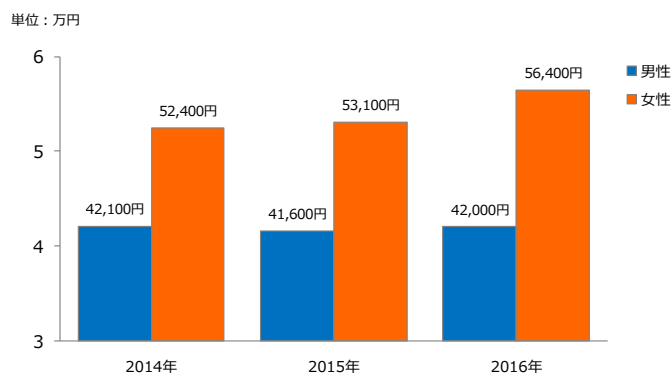


(対象：今年の子どもや孫が帰省するシニア)

※本調査結果の数字は少数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります。

予算の平均額を、過去3年で比べると、男性に大きな増減は見られないが、女性は一貫して増加しており、特に今年は昨年から約 3,000 円増と大きな変化が見られた(【図9】参照)。

【図9】負担する平均額推移＜2014年～2016年＞



4. 「山の日」元年、今どきシニアの 15%が「山登りを考えたり、予定を入れる」きっかけに。

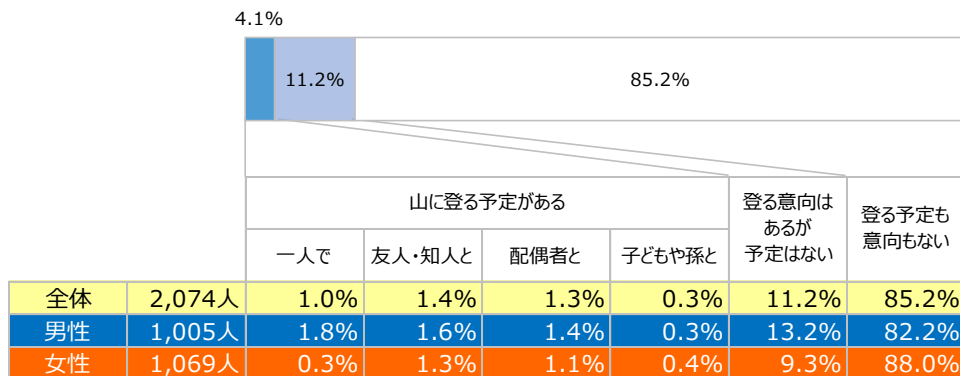
～年代別では 70 代シニアが「山登りをする」割合が多い～

質問：「山の日」をきっかけに「山登り」を考えたか？

今年から施行される「山の日」（8 月 11 日）をきっかけに「山登り」を考えたり、実際に山に登る予定を組んだりしたか聞いてみると、「山に登る予定がある」が 4.1%、「山登りをすることを考えたが、具体的に山に登る予定はない」が 11.2% だった。

山に登る予定の内容は「一人で登る」1.0%、「友人・知人と一緒に登る」1.4%、「配偶者と一緒に登る」1.3%、「子どもや孫と登る」0.3%と分かれた（複数回答）。山の日も休日として、子や孫と過ごす時間を楽しみしているのかも知らない（【図 10】参照）。

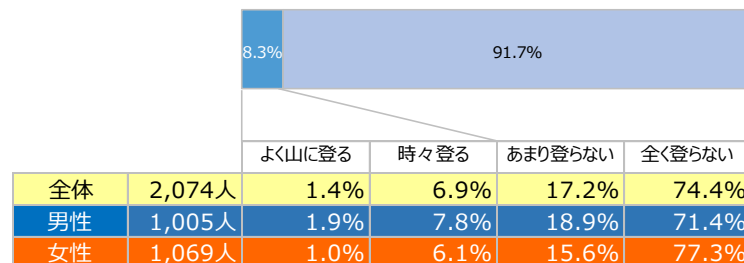
【図 10】 山の日のご予定



※本調査結果の数字は、一部複数回答を含み、少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%になりません。

また、今どきシニアに山登り事情について聞くと、8.3%が「山登りをする」と回答した（よく『山登り』をする 1.4%/時々『山登り』をする 6.9%）（【図 11】参照）。

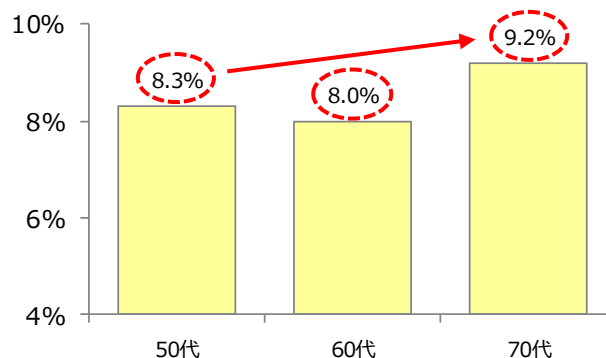
【図 11】 今どきシニアの山登り事情



※本調査結果の数字は少数第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

年代別に見ると 50 代後半 8.3%→60 代 8.0%→70 代前半 9.2%と、70 代が山登りをする割合が多いのが注目される（【図 12】参照）。

【図 12】 山登りをする人の割合（年代別）



以上